

掲載日:2013/6/4

## 第十回南相馬市ボランティア活動



津波被害により基礎以外  
流された住宅



作業は思いのほか重労働・・・



疲れと暑さの戦い(ToT)



トン袋に分別されたゴミの山。



総勢7名(撮影者含む)での作業でした

5/31日今年三回目のボランティア班が南相馬市へ活動しに行きました。センターの方も増幸産業を覚えてくれており、「また来てくれたんだね！」と挨拶してくれました。作業内容は住宅から出たゴミの分別ですが、ゴミの量、種類分けも多く非常に手間と労力を必要としました。作業地域は放射線量(線量)は非常に低く、前泊した福島市の方が高いくらいでした。ですがこの地域の人たちは自宅に泊まることはできず、未だに仮設住宅暮らしを余儀なくされています。この現状を一刻も早く打開していただきたいのと、出来ることなら、より多くの人々がボランティアへ参加して下さる事を願っています。